

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
中国黒龍江省東寧市
【転出元】
長野県松本市
【前 職】
大学院生
【活動時期】
R2.4～R5.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代に足寄町にある九州大学北海道演習林に研究のため毎年来ていました。足寄町の豊かな森林や北海道の文化、オンネトーや雌阿寒岳のような観光資源となる手つかずの大自然は故郷にも通じるところがあり、足寄町の素晴らしさを、国内外の人たちに知ってもらい、多くの方々に足寄町に訪れ、体験して欲しいと考えるようになりました。そのとき足寄町が募集していた「インバウンド対応、エコツーリズムの推進」のための協力隊募集は願ってもないチャンスだと思い、すぐに応募しました。

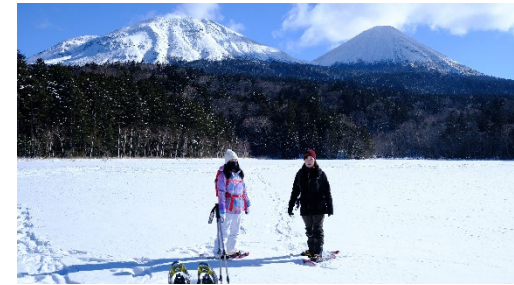
今後の抱負・任期後の目標

今年度が最終年度で、これから阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区の維持管理を担えるように、今は色々な現場業務の引継ぎを受けています。これからも足寄町に残り、オンネトーに関わる事業を行っていきたいです。そして、日本の永住権取得も考えています。インバウンド需要が戻れば、中国人や韓国人向けのツアー商品づくりやガイドの会社を立ち上げ、将来的には宿泊もできる施設も作ってみたいですね。

活動内容

● ツアープログラム開発

オンネトーは四季ごとに楽しみ方がありますが、道路が冬期閉鎖する冬はあまり活用できていません。スノーシューガイドツアーなど、安全に楽しめるツアーが実施できると思い、プログラム開発に取り組んでいます。森林の知識を生かした春～秋のツアーも考えています。



● 町広報誌連載「キンコンカンコー」

足寄町民に、私の活動を通して足寄町の観光について知ってもらうため、広報誌に隔月で連載しています。現場で活動しているからこそ分かるオンネトー地区の自然解説やその時期ごとのイベントなどを紹介しています。



● オンネトー地区管理業務（見習い）

オンネトー一國設野営場を含む現地の管理人が高齢のため、後継者となるべく、様々な維持管理業務を覚えているところです。阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区は現地の自然を理解しなければできないことが多いです。何世代も先までこの自然を残しながら、利活用もできるよう日々勉強しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) →

